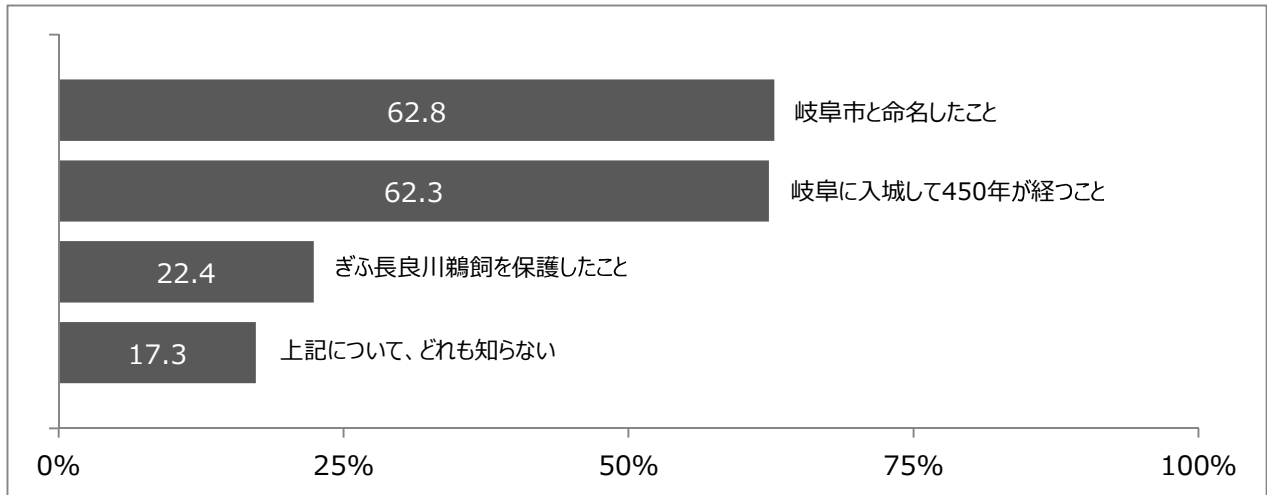


第5章 個別の政策課題の設問

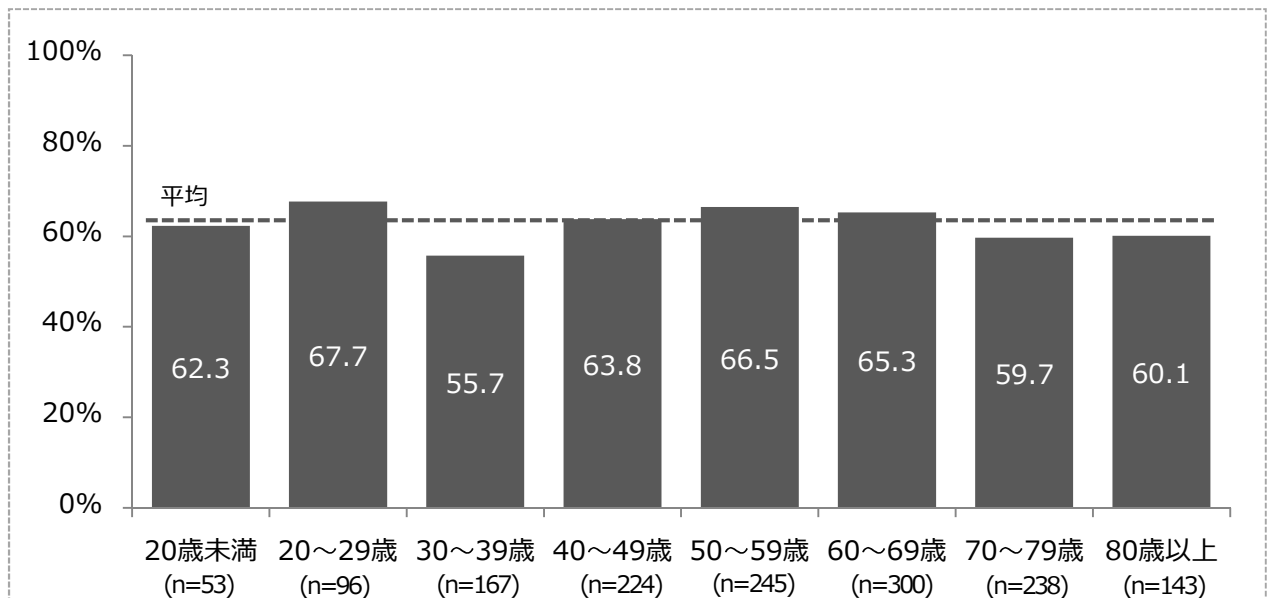
1 織田信長に対する意識

設問 64 織田信長と岐阜市の関連性について知っていることは何ですか。 (複数回答可)



織田信長と岐阜市の関連性について、知っているを選択された割合が最も高かったのは「岐阜市と命名したこと」(62.8%)となり、次いで、「岐阜に入城して450年が経つこと」(62.3%)が続いた。

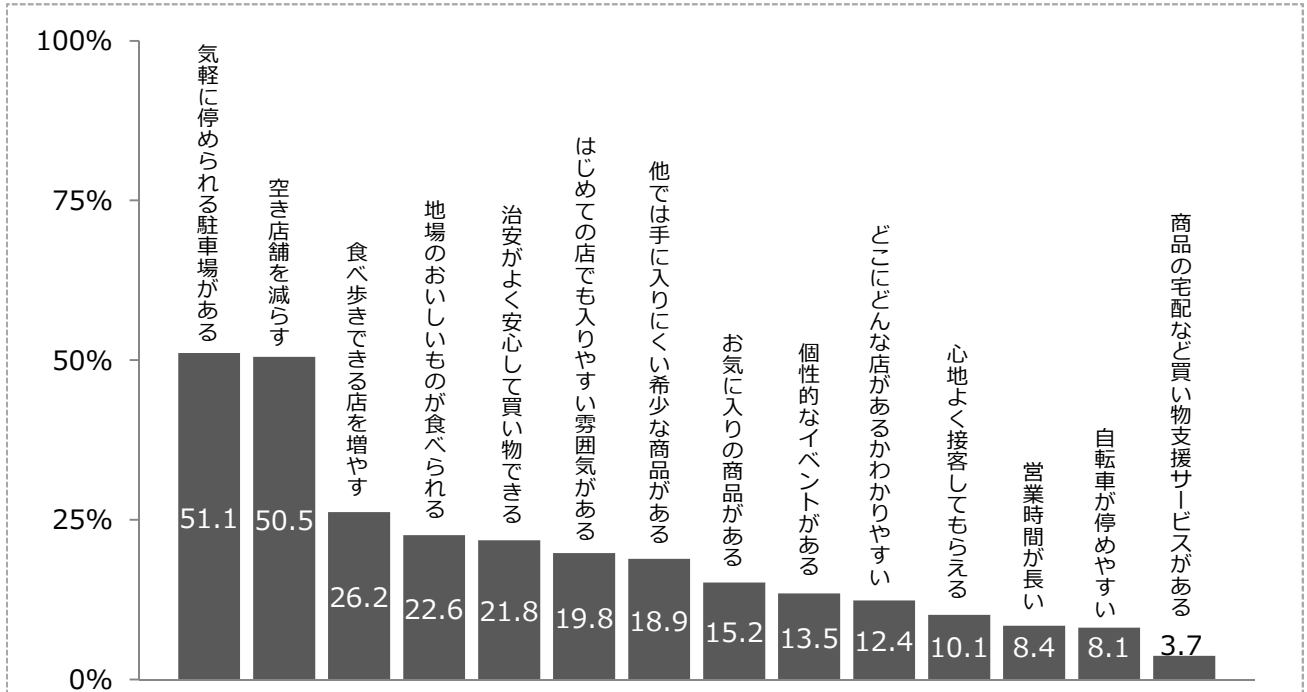
年齢階層別構成とのクロス集計 n=921



「岐阜市と命名したこと」を選択した割合を年齢階層別に、全体の平均(62.8%)と比較すると、「20～29歳」(67.7%)、「50～59歳」(66.5%)、「60～69歳」(65.3%)が平均を上回った。一方で「30～39歳」(55.7%)、「70～79歳」(59.7%)、「80歳以上」(60.1%)が平均を下回り、「40～49歳」(63.8%)、「20歳未満」(62.3%)では平均と近似した値となった。

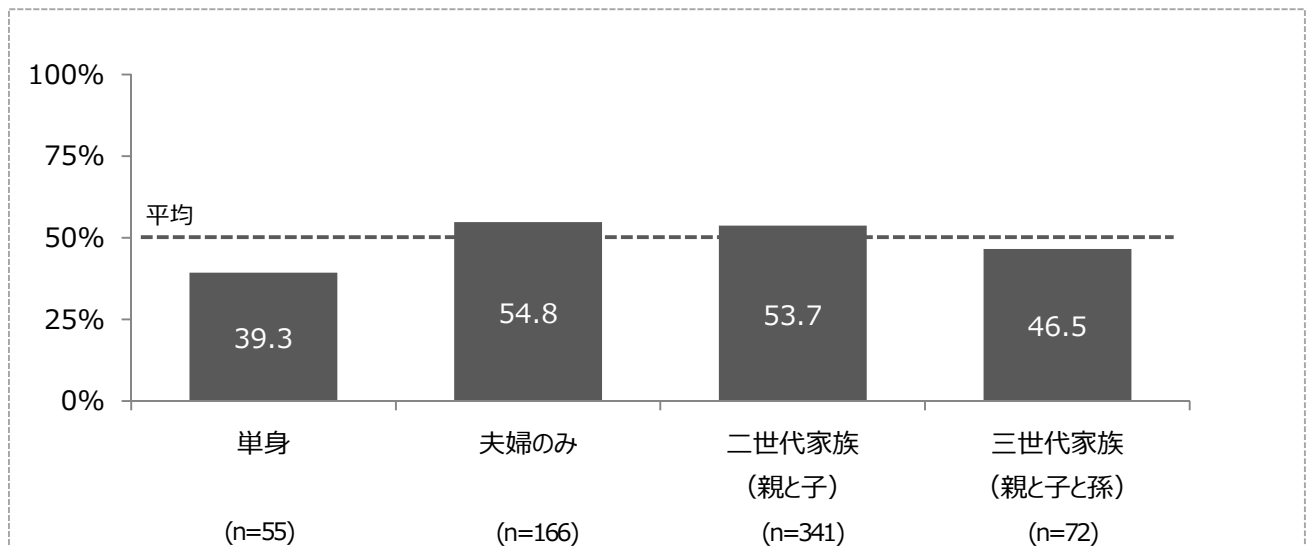
2 中心市街地活性化に対する意見

設問 65 柳ヶ瀬がにぎわうためにどんなことが必要だと思いますか。 (3つまで選択可)



柳ヶ瀬がにぎわうために必要なことについて、選択された割合が最も高かったのは「気軽に止められる駐車場がある」(51.1%)となり、次いで、「空き店舗を減らす」(50.5%)、「食べ歩きできる店を増やす」(26.2%)が続いた。

家族構成とのクロス集計 n=657

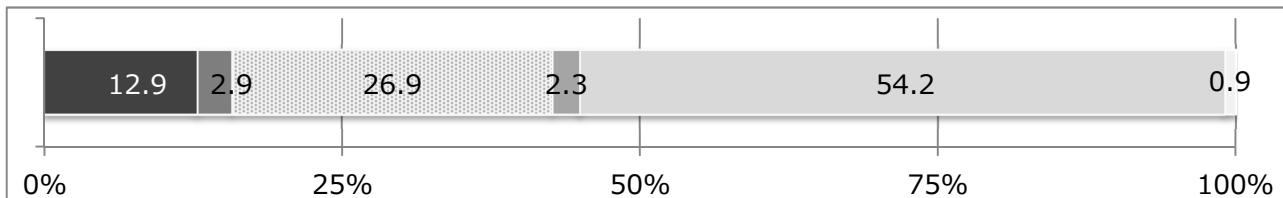


「気軽に止められる駐車場がある」を選択した割合を同居家族別(「その他」を除く)に、全体の平均(51.1%)と比較すると、「夫婦のみ」(54.8%)、「二世世代家族」(53.7%)が平均を上回った。一方で「単身」(39.3%)では平均を大きく下回り、「三世世代家族」(46.5%)でも平均を下回った。

3 市民協働に対する意見・行動

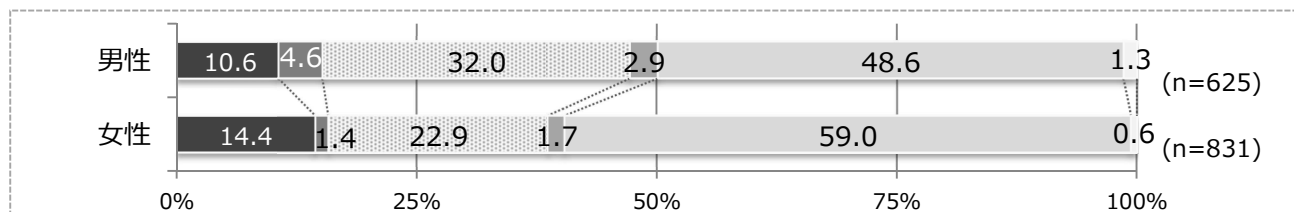
設問 66 市民と行政による協働のまちづくりについてどのように考えていますか。 n=1,466

- 協働が進んでおり、さらに充実していくことが望ましい
- 協働は進んでおり、現状のままでいい
- ▨ 協働が進んでいないため、充実していくことが望ましい
- 協働は進んでいないと思うが、現状のままでいい
- 協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、何ともいえない
- その他



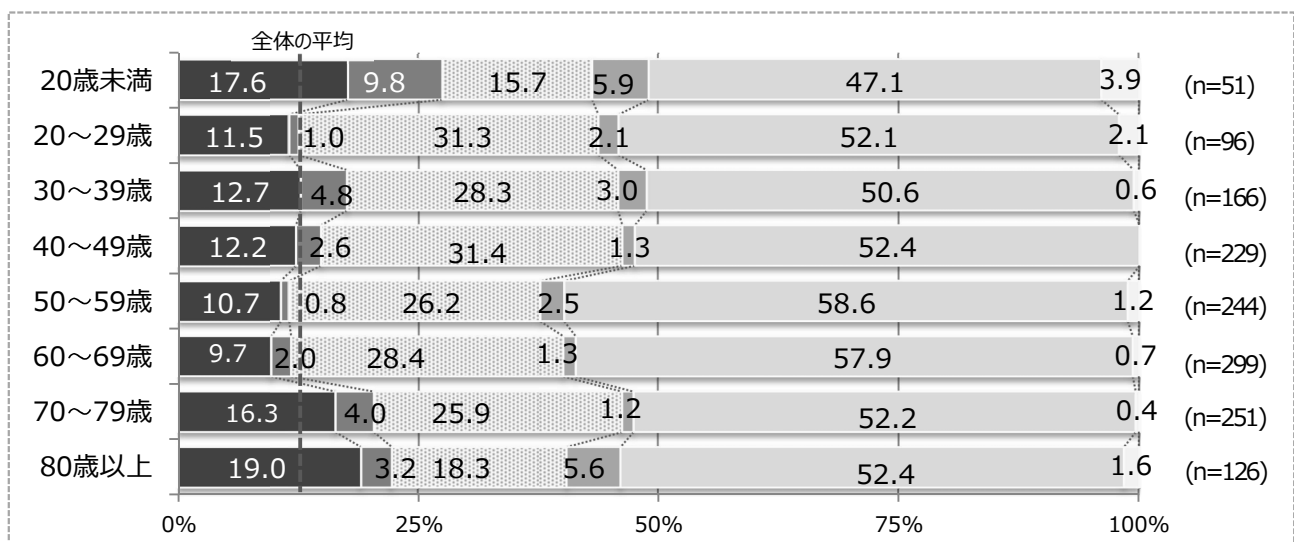
市民と行政による協働のまちづくりについては、「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、何ともいえない」(54.2%)が最も選択された割合が高く、次いで、「協働が進んでいないため、充実していくことが望ましい」(26.9%)が続いた。

男女別構成とのクロス集計 n=1,456



男女別に、「協働が進んでおり、さらに充実していくことが望ましい」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(14.4%)が「男性」(10.6%)を上回った。

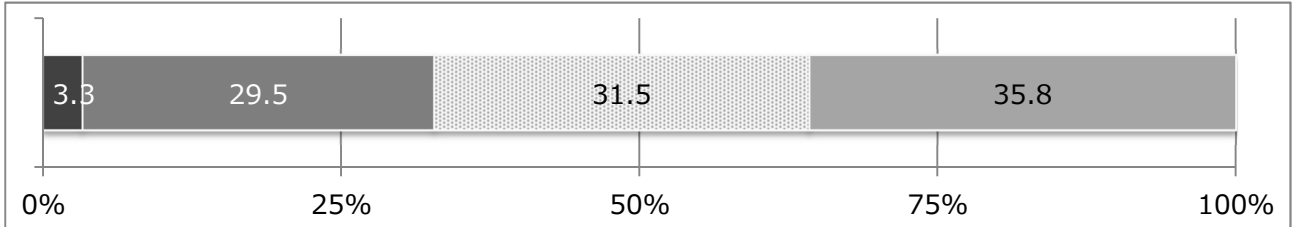
年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,462



年齢階層別に、「協働が進んでおり、さらに充実していくことが望ましい」と回答した割合(12.9%)と比較すると、「80歳以上」(19.0%)、「20歳未満」(17.6%)、「70～79歳」(16.3%)が平均を上回った。一方で「60～69歳」(9.7%)、「50～59歳」(10.7%)、「20～29歳」(11.5%)、「40～49歳」(12.2%)、「30～39歳」(12.7%)では平均を下回る、または近似した値となった。

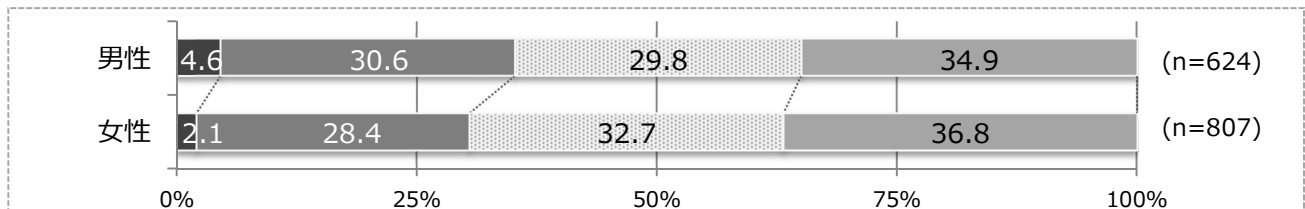
設問 67 自分の持つ知識や経験をいかして、協働のまちづくりに向けた活動をしたいと思いますか。 n=1,443

- 活動したいと思っており、現在も活動している
- 活動したいと思っているが、どのような活動ができるかわからない
- 活動したいと思っているが、時間や余裕がない
- 活動したいと思わない



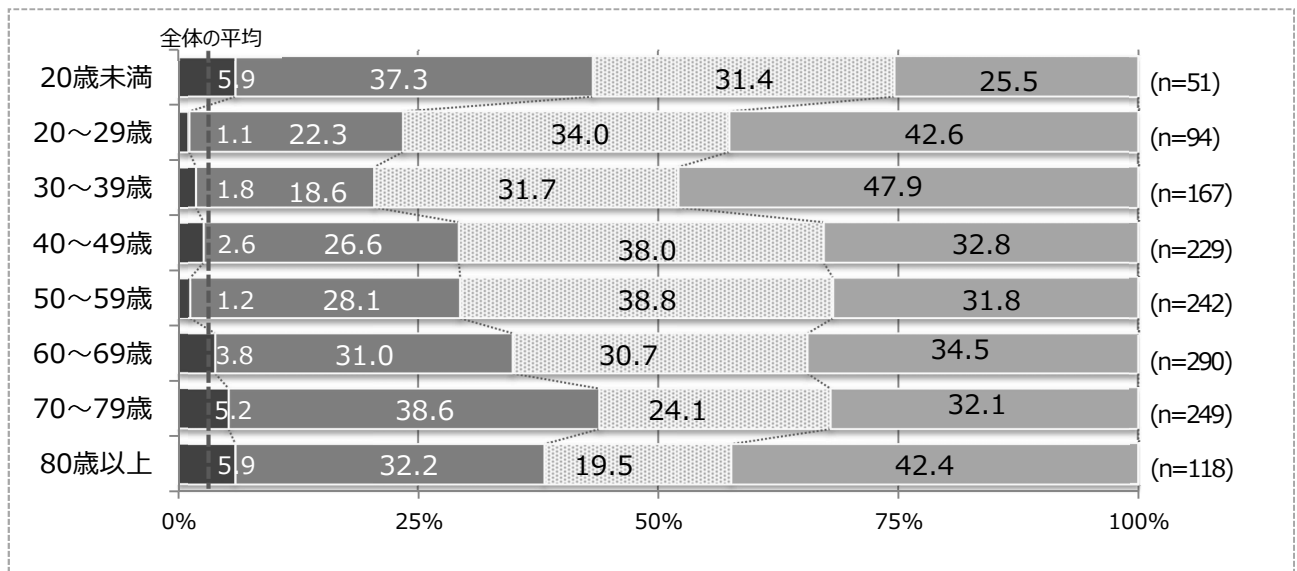
自分の持つ知識や経験をいかした、協働のまちづくりに向けた活動への思いについては、「活動したいと思わない」(35.8%)が最も選択された割合が高く、次いで、「活動したいと思っているが、時間や余裕がない」(31.5%)が続いた。

男女別構成とのクロス集計 n=1,431



男女別に、「活動したいと思っており、現在も活動している」と回答した割合の合計を比較すると、「男性」(4.6%)が「女性」(2.1%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,440

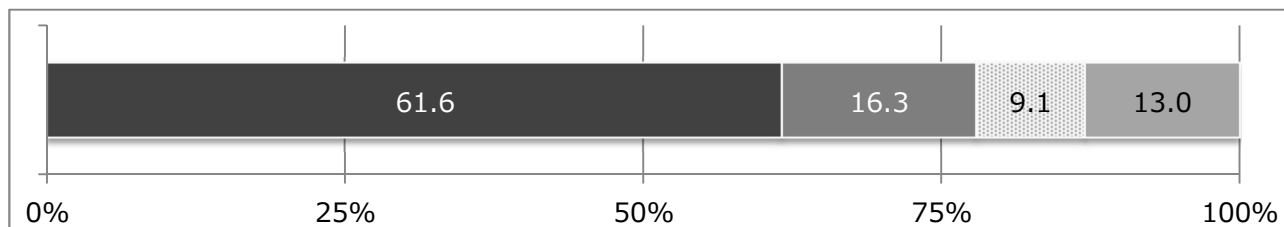


年齢階層別に、「活動したいと思っており、現在も活動している」と回答した割合(3.3%)と比較すると、「80歳以上」(5.9%)、「20歳未満」(5.9%)、「70～79歳」(5.2%)が平均を上回った。一方で「20～29歳」(1.1%)、「50～59歳」(1.2%)、「30～39歳」(1.8%)が平均を下回った。また、「60～69歳」(3.8%)、「40～49歳」(2.6%)では平均と近似した値となった。

4 雑がみに対する意識・行動

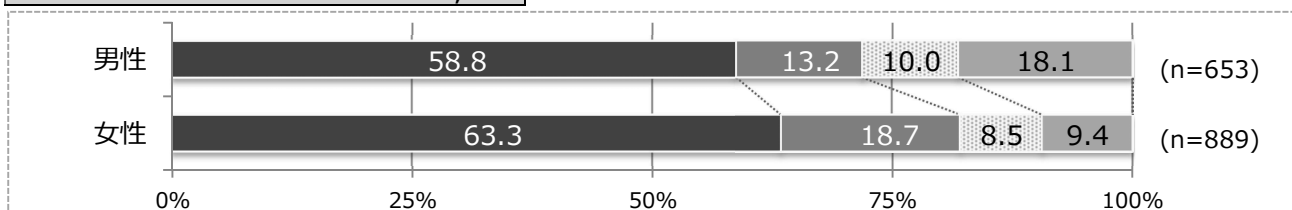
設問 68 リサイクル可能な紙ごみを「雑がみ」として回収していますが、「雑がみ」という言葉を知っていますか。また、分別していますか。 n=1,559

- 「雑がみ」を知っており、分別している
- 「雑がみ」を知っているが、分別していない
- ▨ 「雑がみ」という言葉は聞いたことがあるが、内容を知らないので、分別していない
- 「雑がみ」を知らないので、分別していない



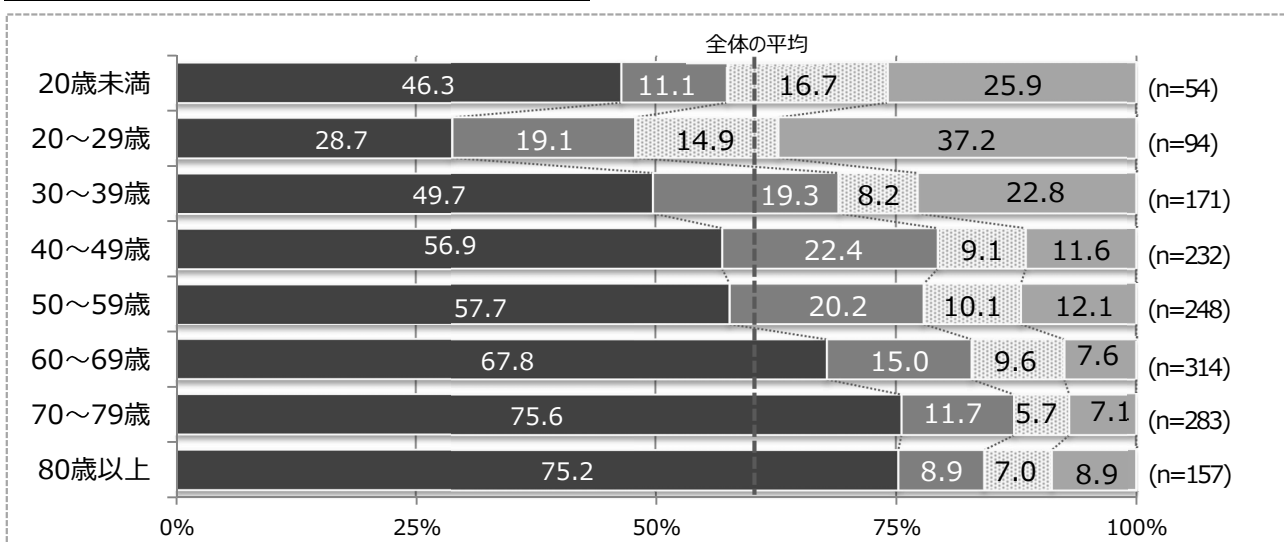
リサイクル可能な紙ごみ「雑がみ」の回収については、「「雑がみ」を知っており、分別している」(61.6%)が最も選択された割合が高く、次いで、「「雑がみ」を知っているが、分別していない」(16.3%)が続いた。

男女別構成とのクロス集計 n=1,542



男女別に、「「雑がみ」を知っており、分別している」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(63.3%)が「男性」(58.8%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,553



年齢階層別に、「「雑がみ」を知っており、分別している」と回答した割合(61.6%)と比較すると、「70～79歳」(75.6%)、「80歳以上」(75.2%)が平均を大きく上回り、「60～69歳」(67.8%)でも平均を上回った。一方で「20～29歳」(28.7%)、「20歳未満」(46.3%)、「30～39歳」(49.7%)では平均を大きく下回り、「40～49歳」(56.9%)、「50～59歳」(57.7%)でも平均を下回った。